

News Release

KD eソリューションズ株式会社
株式会社電知
株式会社エッチ・ケー・エス

2026年 6月29日

EVバッテリー寿命予測診断実証実験開始 ～ EV車の不安をスマホで解決～

KD eソリューションズ株式会社（以下、KDES）は、株式会社電知（以下、電知）が保有する「電気化学インピーダンス法」※1による「実測EVバッテリー情報」と、株式会社エッチ・ケー・エス（以下、エッチ・ケー・エス）のデバイスによる「車両情報」を組み合わせる新しいアプローチを用いたEVバッテリー寿命の高精度予測を可能としました。これによりバッテリー価値の見える化が可能となり、車両乗り換えやバッテリー二次利用※2の最適タイミングが明確になるため、バッテリーの生産から廃棄までのサーキュラーエコノミー※3が加速されることとなります。

※1 周波数を連続変化させた微小信号を充電ポートからEVバッテリーに直接送信し、応答信号を解析することで劣化を予測する手法

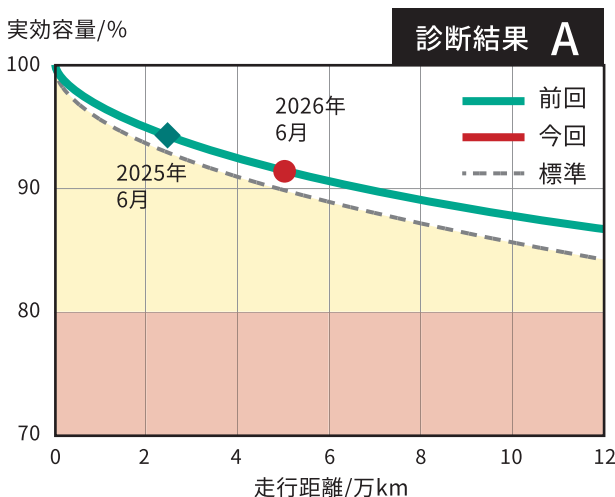
※2 車載用途を終えたりリチウムイオン電池の残存性能を活かして別用途に転用する取り組み

※3 資源を循環させて廃棄物を最小限に抑えながら、持続可能な形で付加価値を生み出し続ける経済システム

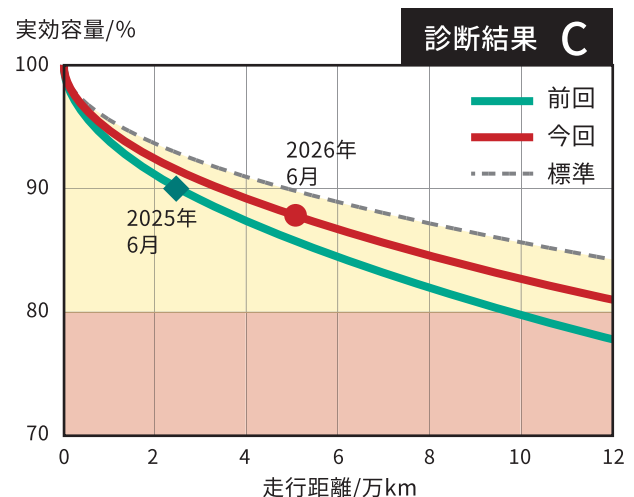
[特長]

- EVバッテリー寿命予測が5分で完結! スマホ連動の新システムで診断結果を即確認
- 利用環境による診断車両の予測寿命と標準寿命との差異の可視化
- 診断結果はEVバッテリーの実測値と車載値の2系統で詳細解析
- 診断結果は一目でわかるグラフとわかりやすいコメントで提示
- EVバッテリー発火予測診断の追加予定 (2026年秋以降実証実験開始予定)

診断結果 (イメージ)



診断コメント 標準よりも劣化が少なく、良好な状態に保たれています



診断コメント 平均よりも少し劣化が進んでいます
前回より劣化の進行が緩やかになっています

■実証実験期間：2026年7月～2027月3月

- ・KDES直営3工場(大阪・堺・京都)にて寿命予測診断開始(7月予定)
- ・対象車両拡大(10月予定)

■実証実験内容：診断対象車両(日産リーフ1型、サクラ)の拡大と継続的な診断精度向上

■各社役割

- ・KDES：EVリース満了車両を活用した継続的なデータ取得と商品化
- ・電知：バッテリー寿命予測診断アルゴリズムの開発
- ・エッチ・ケー・エス：バッテリー寿命予測診断に必要な車両情報を取得するデバイスの開発



KDESについて

KDESは、1959年より自動車整備工場として事業展開し、インフラを支える特殊車両を含む数多くの車両整備を行ってきました。

特にEVは早くから取り組んでおり、1999年にはEV四国ラリーに自社製作車両で参戦・技術蓄積を行ってまいりました。現在でも次世代の自動車技術への積極的投資等により、EV普及に伴う新たなニーズに応える体制を整えています。

自動車リース事業にも力を入れており、法人・個人向け最適プランをご準備しています。お客さまニーズに応じた柔軟な契約を通じて、車両の調達から整備まで行っております。

また、EV導入の際には充電器設置までを一貫してサポートし、業務効率化のご支援を行います。

私たちは、お客さまの故障やEVバッテリー不安等のお困りごとに応えることを最優先に考え、整備事業とリース事業を通じて、地域社会貢献に取り組んでいます。さらに住友三井オートサービスグループの一員として、EVトータルソリューションに注力し、持続可能な社会を実現する企業を目指しています。

【本件に関するお問い合わせ】

KD eソリューションズ株式会社 EV戦略推進室

URL:<https://www.kdes.co.jp/>

e-mail:evsp@kdes.co.jp

株式会社電知

URL:<https://denchi.ai/>

e-mail:info@denchi.ai